

《クラシスホームの現場整備について》

2022年10月15日

お客様の住宅会社選定のための行動を見ると、広く一般建築情報を入手して、身近な人・地域の声を聞いて、現物を見て・触れて・確かめて、Web や SNS (Facebook や Instagram 等) 上でクラシスホームの引渡済みや建築中のお客様の評判を確認して住宅会社を選定しています。

モデルハウスや現場見学会でのしっかりした応対だけでは、お客様は評価してくれません。着工から完成までの全工事期間に対して、お客様や近隣の方々は厳しい目を向けています。

地域密着の営業活動はまず清く・正しく・美しい工事現場からです。

プロの目から見てもキチンとしている現場であることはもちろん、素人の一般の方々の感覚でとらえてもしっかりしている現場こそが高く評価され、地域の方々に受け入れられます。

工事中のお客様や近隣の方や通行人の方々に対するホームエンジニア担当者や協力業者さんの応対やマナーひとつで、住宅会社の評価は大きく変わります。

良い住宅会社として選んでもらえるのか、また紹介してもらえるのか、悪い評判をSNS等で流布されるのかは、ホームエンジニア担当者や協力業者さんの対応次第であり、その役割は重大です。

工事期間中の全日程で現場を整備する必要があると考え、お客様や地域に信頼される現場づくりを進めましょう。

1 あいさつ

明るく元気に大きな声であいさつをする。

- お客様や近隣の方には明るくハッキリとあいさつをする。
- 協力業者さん同士でもあいさつをし、コミュニケーションをはかる。
(大きな声で世間話をするのは、良いコミュニケーションとは違いますので注意する。)
- 資材の搬入等で近隣の方へ迷惑をおかけする場合は、しっかりと説明をしてから行い、終了時にもお礼のあいさつをする。
(近隣の方の車等が出られる場合は作業を中止して近隣の方を優先する。)

2 飲食等について

- 休憩等の飲食は建物の外（屋根及びバルコニー等も禁止）で行い、ゴミ等は必ず毎日持ち帰る。
- 近隣に駐車した車内で飲食や休憩する場合は車のエンジンをかけずに行う。
(エンジンをかけないといけない場合は近隣の迷惑にならない場所まで移動する。)
- 建物内での食事は大工工事完了までとする。（床養生はしっかり行う。）

3 噫煙について

- 現場敷地内及び前面道路等の隣接地での喫煙は原則禁止とする。（電子タバコを含む）
但し、工事車両内でドアを締め切り、煙等の害を外部に影響させない場合に限り喫煙できるものとする。

4 アルミサッシ取付後は土足禁止

- ・アルミサッシ取付後建物内は土足禁止とし、屋内で作業する場合は各自で用意した上履きに必ずはき替えて行う。（保安BOXのお客様用スリッパは使用しない。）

5 現場作業について

現場作業時には原則ヘルメットを正しく着用する。

※建物内の仕上げ工事など作業に支障がある場合で安全が確保されていればこの限りではない。

高所では安全帯を使用し墜落事故の無いように安全確認をして作業を行う。

また、資材等の落下には十分注意をはらい上下作業の無いようコミュニケーションを図り安全確保する。

※ヘルメットは他社名の無い、又は社名を隠して着用する。

※ヘルメット・安全帯は使用前点検(耐用年数期限内等)した墜落時保護・飛来落下物兼用タイプを使用する。

上棟作業について

- ・上棟作業時には高所作業に適した服装及び作業靴を着用する。
- ・上棟作業時の床開口部には、墜落防止用ネット又は足場板等を正しく設置し墜落防止措置をとる。
その他、危険と判断される箇所には、適した墜落防止用対策を行ってから作業をする。
- ・高所では親綱・安全帯等の墜落制止用器具を使用して、墜落災害の防止に努める。

仮設足場等について

作業中に仮設足場の組替えや壁つなぎやネット養生を外す等の改良を行った場合は、必ず毎日もとどおりに復元する。（仮設足場の改良をそのままにする場合は現場係員の許可を得る。）

階段及び吹き抜け等の危険個所については、墜落防止用の手摺等で立ち入り禁止区画を設置する。

内部の作業用昇降階段は必ず安全に上り下りできるよう固定する。

6 整理整頓清掃

資材は大切に保管をし、常に整理整頓を心掛ける。

- ・屋外の資材はブルーシートで養生・飛散防止を行う。
- ・資材はお客様のものとして、常に大切に取り扱う。
- ・他の協力業者さんも作業しやすいよう、自身に関係する資材は整理整頓する。
- ・資材を仮設足場に長時間立てかけたり、置いたままにしない。
- ・床養生は丁寧に行い、ゴミが混入しないよう常に養生テープの点検を行う。
(後日に施工をする箇所も含めること。また、和室のタタミ下合板も必ずブルーシートで養生をする。)
- ・クリーンBOXの中は整理して隙間なく残材を処理する。
(長尺材は短く切断して効率のよい処理をする。)
- ・クリーンBOXへの分別処分は「クラシスホーム建設廃棄物等の取り扱いについて」を遵守する。
- ・各自が片付けるべき材料や残材及び梱包材は責任をもって処理をする。

道路の清掃、近隣への配慮

- ・車両の出入り等で道路を汚してしまった場合は、速やかに清掃をする。
- ・自分たちが出したゴミ以外であっても道路や近隣に飛散してくるゴミは自主的に片付けるよう努めましょう。
(タバコの吸い殻と飲食物のゴミはクリーンBOXに入れずに処分するよう協力願います。)
- ※ゴミは風で飛んできたり、通行人によるポイ捨て等もありますが、近隣の方は風で飛んできた他人のゴミも建築現場から出たゴミと区別がつきません。
「建築工事自体が近隣に迷惑」という認識のもと、行動をお願いいたします。

毎日、作業完了後に清掃を行う。

- ・屋内はもちろん、屋外も毎日確認する。
- ・ジュースの空き缶や弁当のゴミは毎日各自で持ち帰り片付ける。
休憩等でお客様からいただくジュース等の空き缶も各自で片付ける。
- ・アルミサッシ敷居等の細かい箇所も清掃確認する。
(きれいな状態維持を心掛けましょう。)

その他

- ・組み立て後のシステムバス内は立ち入り禁止とします。また、資材置場としない。
 - ・キーボックスの蓋を開けたままにしない。(蓋を閉じ、解錠番号以外の番号にする。)
 - ・短時間でも現場を離れる際は施錠をし、戸締りや電源の確認をする。
 - ・その日の最終作業者は、照明や各種電源の切忘れ及び戸締りを必ず確認する。
(自身の作業内容・作業エリアに関係なく、すべてを確認する。)
- ※誰が最終作業者なのか、協力業者さん同士でのコミュニケーション・連携をお願いします。

7 その他

お客様からの質問にはハキハキと答える。

- ・請負った範囲の決められた内容については、ハキハキと丁寧に説明をしてください。
(ただし、頻繁にお客様が来られて、作業に支障が出る場合はホームエンジニア担当者に伝えてください。)
- ・お客様と話をする時や現場内で会話する時は言葉遣いや会話の内容に気を付ける。
- ・お客様からの直接の変更は受け付けないようにしてホームエンジニア担当者に伝えるよう、お客様へは丁寧に話をしてください。
- ・提携工事業者さんがお客様と打合せした工事内容については、責任をもって調整及び実行する。
また、お客様への報告・連絡・相談は丁寧に行う。
(残工事の予定連絡や工事完了後の請求連絡・入金確認時のお礼の連絡等については必ず行う。)

ホームエンジニア担当者への連絡の徹底。

- ・工事着手日や工期の変更等を申し出したい場合は速やかに連絡、調整する。
- ・キズや加工間違い等の問題が起きた場合は大小問わず、早急に連絡する。
- ・現場を抜ける必要が発生した場合は日時等を明確に伝達する。
- ・作業時間外や休日に作業をする必要がある場合は必ず許可を得て行うようにする。
- ・台風等の翌日は作業前に必ず現場全体の確認をし、異常を発見した場合には早急に連絡する。

責任施工・自主検査の徹底。

- ・後工程の業者さんことを考え完璧施工で工事を終了させる。
(建築工事は各工種の組合せにより成り立っていることを自覚する。)
- ・先工程の施工に不備がある場合は、ホームエンジニア担当者に速やかに連絡する。
- ・台風時のルーフィングやブルーシート養生は責任施工で、飛散しないよう胴縁等で強固に固定する。

車の駐車について

- ・車両の駐車位置は原則、現場内又は指定された借上げ工事用駐車場としますが、建築地の状況等によりやむを得ず道路へ駐車する場合は、近隣の方達の迷惑にならない場所とする。
場合によっては、近隣の方にはあいさつをしてトラブルとならないようにする。

図面の管理について

- ・図面は丁寧に取り扱い、配布されたお客様の図面は各自で管理し、完了後は持ち帰る。
(現場廃棄は禁止とします。)

騒音・粉塵等について

- ・重機やコンプレッサー・工具等の騒音で配慮できるものについては、近隣迷惑にならないよう努める。
(使用していない時の停止、設置位置の注意、使用する時間帯等を考える。)
- ・改良工事や外部にて加工作業する場合は、近隣の洗濯物や車両に注意し十分な養生をする。
- ・近隣に配慮し、ラジオ等の使用は禁止とする。
(イヤホン等の使用は可とするが、お客様・業者さん同士のコミュニケーションに支障が無い様に配慮する。)
- ・携帯電話で話をする際は、話の内容や声の大きさ等近隣の方に迷惑にならないようにする。
また、話が長くなる場合は車の中で行う。
- ・足場ネットや資材のブルーシート養生は強風でバタつかないように気を付ける。

竣工前の設備の管理について

- ・取付した設備等について試運転以外の使用は行わない。また、養生シート等は取り外さない。

体調管理について

- ・施工品質や労働災害防止のため、体調を管理してベストの状態で現場入場する。

以上のこと들을注意して、私たちを選んでくださったお客様の家づくりが気持ち良くできるよう努めましょう。

また、現場の毎日が展示場になるよう、ご協力を願いいたします。



安全標語

- 1 無災害 こころに刻んで 安全作業
- 2 高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害
- 3 安全は 人に頼らず自分で行動 ルールを守り 安全作業
- 4 明るいあいさつ 元気な現場 みんなで目ざそうO災害
- 5 走るな、急ぐな、手を抜くな 焦った作業に安全なし
- 6 小さな油断が大きな事故に 慣れた現場も気を引き締めて
- 7 心の乱れが 仕事にも！ 己の管理も気を付けて
- 8 ひとりより みんなで築く 無災害
- 9 作業の区切りに片付け清掃 綺麗な職場は良い職場
- 10 慣れた作業 危険に慣れる=事故の元
- 11 責任感 あればなおさら安全作業
- 12 “こんなもんか”はミスの元 積もり積もって事故の元
- 13 危険〇思い過ごしが事故の元 つもりの場合は再確認
- 14 「まあ、いいか」が事故のもと 妥協を許さず安全作業
- 15 安全は、人に頼るな、任せるな
- 16 初心に帰れ 安全は基本動作の積み重ね
- 17 ヒヤリ・ハットの教訓を 生かせみんなでゼロ災害
- 18 慣れた作業は気持ちも緩む 締めて取り組めゼロ災害
- 19 現場内片付けよう、それが次への思いやり
- 20 全てに安心を作り出そう。それが安全への第一歩
- 21 災害は思わぬ所にひそんでる
- 22 気を抜くな 終わり間際の事故注意
- 23 皆んな笑顔で無災害 カケ声大きく準備良し
- 24 父帰る 元気な姿に子供の笑顔、今日も一日ありがとう
- 25 慎重に 自信過剰は事故のもと 安全確認を忘れずに
- 26 危険だと気付いた所はすぐ直そう
- 27 危険の芽、みんなで見つけて、みんなでつぶそう
- 28 近道を選ぶ心に落とし穴、ルールを守り安全作業
- 29 安全はあなたの心のゆとりから
- 30 いつもの作業も油断せず、自ら確認 自ら実行